



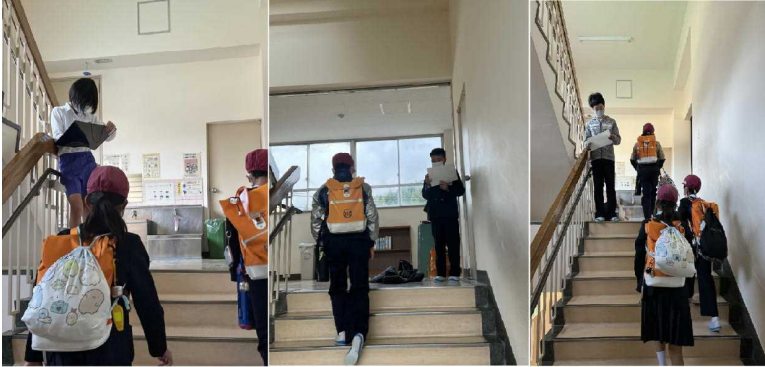
絆 (きずな)

目指す児童像

- やさしい子
- よく考える子
- ふるさと思いの子

最近のできごとから

あいさつ運動



児童会執行部によるあいさつ運動の様子

児童会執行部による「あいさつ運動」が行われています。他の児童よりも一足早く登校し、登校してくる児童一人一人に「おはようございます」とあいさつをしています。

あいさつはコミュニケーションの基本です。12月の全校朝会では、あいさつをテーマとした講話を予定しています。

越前水仙の花が咲き始めました



8月31日に一人一鉢で植えた越前水仙の花が咲き始めました。河野小学校だよりNo.31でお知らせしたとおり、毎朝、始業前に児童が水やりをしています。花が咲き始めたことで、より一層、児童の越前水仙への愛着の気持ちが強くなっているのではないかと思います。今後は植木鉢を玄関に並べ、可憐な花が学校を訪れる方々をお迎えするようにしたいと考えています。

越前水仙が河野の象徴として、児童の心に根付いていくことを願っています。

しつけの三大原則

国民教育の師父といわれるもりしんぞう森信三先生が「しつけの三大原則」を提唱しています。

1, 朝のあいさつをする子に一。

それには先ず親の方からさそい水を出す。

2, 「ハイ」とはっきり返事のできる子に一。

それには母親が、主人に呼ばれたら必ず「ハイ」と返事をする事。

3, 席を立ったら必ずイスを入れ、ハキモノを脱いだら必ずそろえる子に一。

森信三先生は長く教鞭をとられた後、教えを乞う人たちの求めに応じて、全国を行脚され、同時に多くの執筆活動をされました。数々の名語録をおさめた書籍は今でも多くの人に示唆を与えています。しつけの三大原則は、森信三先生の教育観を象徴しているのではないかと思います。私自身が指導のより所としてきたことです。あいさつ、返事、イスを入れハキモノをそろえる。ご家庭でも励行していただければと思います。